

計画策定 平成29年度

計画期間 平成30年度
(2018年度) } 6カ年間
平成35年度
(2023年度) }

大空町医療計画

大空町

平成30年3月

目 次

第1部 計画策定の趣旨、呼称、期間

1. 計画策定の趣旨	1
2. 計画の呼称と期間	1

第2部 医療の現状と課題

1. 医療圏域	1
2. 医療の自給と依存の状況	2
3. 医療機関等の状況及び課題	2
(1) 医療	2
(2) 歯科医療	5
(3) 精神医療	5
(4) その他の医療関連機関	6
(5) 保健医療等従事者	6
(6) 救急・休日夜間医療と患者搬送	7

第3部 主要施策

1. 基本方針	9
2. 医療の確保施策	9
(1) 医療サービスの分担と医療の確保	9
(2) 基幹病院としての位置づけと貸付財産の措置	9
(3) 基幹病院としての役割	10
(4) 基幹病院への支援	10
(5) 大空町東藻琴診療所の役割	10
(6) 歯科医療の充実	11
(7) 医療等従事者の充実、配置	11
(8) 在宅医療の推進	11
(9) 救急医療の充実	11
(10) 医療の情報化の推進	11
3. 保健・医療・福祉サービス推進のための関連施策	12
(1) 関連機関との連携	12
(2) 在宅ケアの促進	12
(3) 予防対策の推進	12
(4) 「かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局」の推進	12

第1部 計画策定の趣旨、呼称、期間

1. 計画策定の趣旨

我が国は、人口減少社会に突入し、また平成37年（2025年）にはいわゆる「団塊の世代」がすべて75歳以上となる中、医療の在り方を、主に青年壮年期の患者を対象にした「病院完結型」の医療から、住み慣れた地域や自宅での生活を支える「地域完結型」の医療に重点を移しています。

また、地方における医師並びに医療等従事者の不足は、今日まで解消されている状況とはなっていません。

そうした中、北海道においては、地域の実情や広大な面積・多雪・寒冷といった地理的・気象的特性を踏まえ、人口の減少や高齢化の進行など将来を見据え、住民・患者の視点に立った新たな「北海道医療計画」の策定に向け、事務を執り進めています。

大空町としても人口減少を踏まえた中で、第一次医療圏としての地域の医療の姿、町民から求められる医療機能の確保に対応した責務を明確にし、限りある医療資源を効率的に活用していく必要があります。

また、第一次医療圏として不足している医療機能については、第二次、第三次医療圏と連携・協力し、町民に対し包括的医療サービスを適切に提供していく必要があります。

こうしたことから、安定的に、かつ持続した医療等を町民に対し提供するため、大空町医療計画を策定します。

2. 計画の呼称と期間

本計画は、「大空町医療計画」と称します。計画の期間は、平成30年度（2018年度）を初年度とし、平成35年度（2023年度）を目標とする6か年計画とします。

第2部 医療の現状と課題

1. 医療圏域

北海道医療計画に基づき、第一次医療圏、第二次医療圏及び第三次医療圏が位置付けられています。

第一次医療圏は、基本的な地域単位で各市町村が担います。第二次医療圏は、第一次医療圏のサービスの提供機能を広域的に支援するとともに、比較的高度で専門性の高い医療サービスを提供する単位で、大空町は北網地域（10市町）に属しています。第三次医療圏は、高度で専門性の高い医療サービスを提供する単位で、厚生労働省令で定める特殊な医療資源の適正配置を図る地域単位です。大空町はオホーツク地域（18市町村）に属しています。

（表-1）

この、第二次医療圏の中核を担う地域センター病院には、JA北海道厚生連網走厚生病院と北見赤十字病院が指定され、第三次医療圏の高度・専門医療機関である地方センター病院には、北見赤十字病院が指定されています。

このように、予防、初期医療から高次医療まで一貫した医療供給体制が確立されています。

表－1 医療圏域

(平成29年4月1日現在)

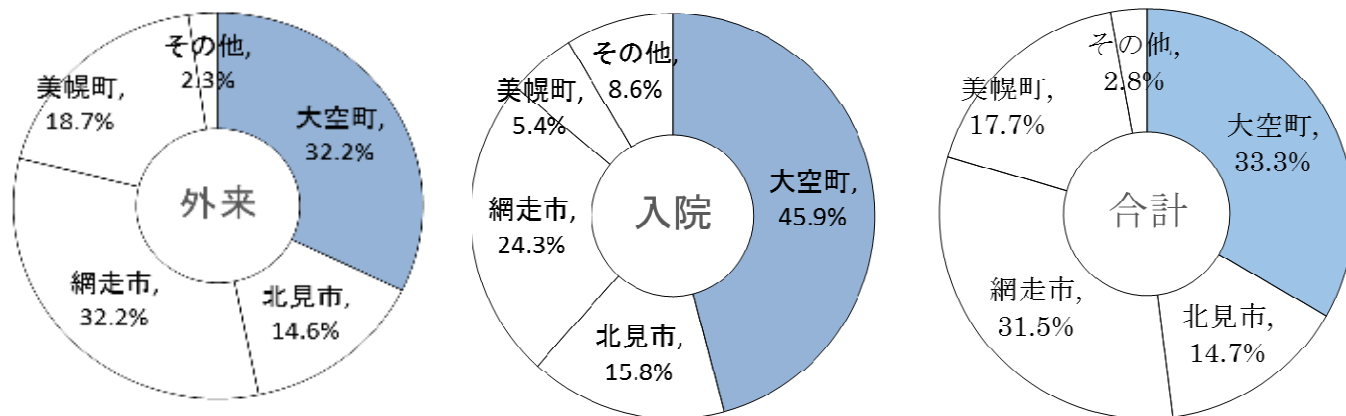
第三次医療圏	第二次医療圏	第一次医療圏				
オホーツク ＜地方センター病院＞ ・北見赤十字病院	北 網 ＜地域センター病院＞ ・北見赤十字病院 ・JA北海道厚生連 網走厚生病院	北見市	訓子府町	置戸町	美幌町	津別町
	遠 紋 ＜地域センター病院＞ ・JA北海道厚生連 遠軽厚生病院 ・広域紋別病院	大空町	網走市	斜里町	清里町	小清水町
		遠軽町	湧別町	佐呂間町	紋別市	滝上町
		西興部村	興部町	雄武町		

2. 医療の自給と依存の状況

大空町の医療自給と依存度について、平成29年4月から6月分の国民健康保険及び後期高齢者医療制度加入者の診療状況で見ると、自給度は33.3%（外来32.2%、入院45.9%）となっています。

表－2 国民健康保険及び後期高齢者医療自給度

区 分	受診者 総 数 A 人	自給度		北網医療圏域内受診（自町を除く）								圏域外受診		道外受診	
		受診者 B 人	自給率 B/A %	受診者 C 人	自給率 C/A %	Cの内北見市で		Cの内網走市で		Cの内美幌町で		受診者 F 人	受診率 F/A %	受診者 G 人	受診率 G/A %
						受診者 D 人	受診率 D/A %	受診者 E 人	受診率 E/A %	受診者 E 人	受診率 E/A %				
外 来	10,055	3,241	32.2	6,579	65.5	1,463	14.6	3,233	32.2	1,883	18.7	201	2.0	34	0.3
入 院	882	405	45.9	401	45.5	139	15.8	214	24.3	48	5.4	76	8.6	0	0.0
合 計	10,937	3,646	33.3	6,980	63.9	1,602	14.7	3,447	31.5	1,931	17.7	277	2.5	34	0.3



3. 医療機関等の状況及び課題

(1) 医 療

大空町の医療等機関の状況は表－3のとおりです。

○大空町東藻琴診療所

大空町東藻琴診療所は、平成13年4月より東藻琴村国民健康保険診療所、平成18年3月からは大空町東藻琴国民健康保険診療所として診療を行ってきました。

平成22年4月からは、医療法人社団双心会が指定管理者となり、診療所名を「大空町東藻琴診療所」に変更し、運営を担っています。

診療科目を内科とする、無床、外来診療のみの診療所となっています。

○医療法人社団双心会 女満別中央病院

旧女満別町は、昭和45年に町立国保病院を閉鎖しましたが、民間の女満別病院が診療を開始しました。平成6年4月からは町が誘致した医療法人社団耕仁会により、女満別シティー病院が開設され、平成15年4月からは個人病院である女満別中央病院に運営が引き継がれました。平成21年1月1日から個人運営から医療法人社団双心会として法人化され、現在の診療科目は内科、外科、消化器科、循環器内科、循環器外科、リハビリテーション科となっています。

医療法人社団双心会女満別中央病院の土地等（施設建物は除く）は町有貸付物件となっています。（表一4）

大空町では医療法人社団双心会女満別中央病院が入院施設を有する唯一の医療機関となっています。

医療制度の改正に伴い、医療療養型病床の削減若しくは、介護保険法の改正により新たに創設された介護医療院へ転換を図る等、人口減少社会に見据えた地域医療に対する再検討が求められている現状です。

○特別養護老人ホーム

特別養護老人ホーム内に診療所があり、診療科目は内科、外科となっています。

表一3 医療等機関の状況 (平成29年4月1日現在)

区分	医療等施設名	経営主体	許可病床数					標ぼうしている診療科目	救急告示年月日
			総数	精神	結核	一般	療養型病床		
診療所	大空町東藻琴診療所	町 (指定管理)						内科、外科	
病院	医療法人社団双心会 女満別中央病院	法人	82			42	40	内科、外科、消化器科、循環器内科、循環器外科、リハビリテーション科	H15.4.21
診療所	特別養護老人ホーム(2)	法人						内科、外科	

表－４ 医療機関の主な医療機器保有状況

大空町東藻琴診療所

(平成29年10月末日現在)

医療機器	台数	医療機器	台数
電子内視鏡装置(本体)	2	レントゲン現像機	1
上部消化管内視鏡(口腔スコープ)	1	超音波診断装置(エコー)	1
上部消化管内視鏡(経鼻スコープ)	1	心電計	1
下部消化管内視鏡(大腸スコープ)	1	トプコン無散瞳眼底カメラ	1
内視鏡挿入形状観測装置(UPD)	1	自動血球計数CRP測定装置	1
スコープ洗浄機	1	全自動錠剤分包機	1
X線透視撮影機器(レントゲン)	1	自動分割分包機	1
マルチスライスX線CT装置	1	オージオメータ	1
生体情報モニター ダイナスコープ	1	電子式診断用スパイメータ	1
除細動器	1	コニカミノルタCRシステム一式	1
会計・レセプト用コンピューター一式	1	診療用画像参照遠隔操作システム	1

医療法人社団双心会 女満別中央病院

(平成29年10月末日現在)

医療機器		合計	病院 所有	町 所有	医療機器		合計	病院 所有	町 所有
患者生体検査機器	カラー超音波診断装置	1	1		患者治療機器	高気圧酸素治療装置	1		1
	電子スコープ	4	4			AED	1	1	
	PEGカテーテル用 胃ファイバースコープ	1	1		患者監視装置	患者監視装置	14	14	
患者検体検査機器	血液ガス分析装置	1	1	入院設備		サーボベンチレーター	4	4	
					椅子入浴装置	1	1		
	自動血球計数装置	1	1		薬局用	全自動散薬分包機	2	2	
	顕微鏡	1		1	リハビリ機器	マクターロイヤルクラウン	1	1	
	遠心分離機	1		1		トリミックス 505 H	1	1	
	内視鏡洗浄機	1	1			干渉低周波治療器	1	1	
患者診断機器	自動現像器セブロスS	1	1			起立訓練傾斜ベット	1	1	
	ホルター心電計解析装置	1	1			渦流浴装置(上下肢用)	1	1	
	ポータブルX線撮影装置	1	1		手術関連機器	麻酔機	1	1	
	透視画像処理装置	1	1			電気メス	1	1	
	外科用X線TV装置	1	1			手術用手洗い装置	1	1	
	外科用イメージ	1	1			無影灯スカイルックスグローリリブラ	1	1	
	X線一般撮影装置	1	1			無影灯	1		1
	X線TV装置	1	1			手術台	1	1	
	診断用X線CT装置	1	1			血管造影用自動注入器	2	2	
	FCR	1	1			ジェットウォッシャー(中材)	1	1	
	血圧脈波検査装置	1	1			ユヤマクレーブ	2	2	
	心電計	1	1			腹くう鏡手術装置	1	1	
	画像ワークステーション	10	10			ガス滅菌機	2	2	

人口10万人対比病床数につきましては、表－5でみると全道、オホーツク総合振興局、網走保健所管内に比べ、いずれよりも少ない状況になっています。

医療制度改正により、医療の必要度の低い療養型病床については、削減等による見直し・再編が求められており、大空町におきましても医療法人社団双心会女満別中央病院の療養型病床(40床)の確保が今後の課題となっています。

表－５ 病床数

(平成26年10月1日現在：平成26年北海道保健統計年報より)

	病 床 数							人口10万対病床数		介護老人保健施設入所定員
	総 数	病 院						病 院	診 療 所	
		計	一般病床	療養病床	精神病床	結核病床	感染症病床			
全 道	103,538	96,574	53,107	22,646	20,484	243	94	1,788.4	128.7	16,484
オホーツク総合振興局	5,148	4,757	2,916	1,175	658	-	8	1,611.3	132.4	778
網走保健所	1,168	1,094	671	275	146	-	2	1,602.0	108.4	172
大 空 町	82	82	42	40	-	-	-	1,096.3	-	-

(2) 歯科医療

大空町には歯科診療所が4か所(表－6)あり、身体障がい者や寝たきり老人等に対する訪問歯科診療や、乳幼児の歯科予防を推進することが求められてきています。

表－6 歯科診療所(平成29年4月1日現在)

区 分	医 療 等 施 設 名	経 営 主 体
歯 科 診 療 所	あおさぎ歯科医院	個人
	守屋歯科医院	個人
	おおぞら歯科	個人
	東藻琴歯科診療所	個人

(3) 精神医療

大空町に精神科を標ぼうする医療機関はなく、第二次医療圏内の医療機関に依存しています。精神障がい者は、平成26年末現在、表－7のとおりです。また、受療状況については、表－8のとおりであり精神障がい者が地域社会の一員として生活ができるよう、地域生活支援拠点の整備が今後の課題です。

表－7 精神障がい者数(病類別)

(平成26年末現在：平成27年版オホーツク地域保健情報年報より)

	総数		脳器質性精神障害				精神作用物質による精神及び行動の障害				統合失調症	気分(感情)障害	神経症性障害	行動的生理的障害及び身体的要因の	成人の人格及び行動の障害	知的障害	心理的発達障害	情緒障害及び青年期の行動及び	小児期及び青年期の行動及び	特定不能の精神及び	てんかん	その他
	合計	率人口千対	アルツハイマー病の認知症	血管性認知症	その他	小計	アルコール使用	覚せい剤使用	その他	小計												
全道	144,430	26.7	6,885	1,831	5,248	13,964	3,548	498	582	4,628	41,040	54,540	8,803	417	749	1,796	3,959	1,593	10,928	2,013		
オホーツク総合振興局	8,969	30.4	791	204	444	1,439	188	27	42	257	2,832	2,773	413	27	38	142	146	87	783	32		
網走保健所	1,621	23.8	192	33	81	306	35	3	8	46	617	390	72	4	14	23	21	12	111	5		

※ 市町村は未公表

表－１０ 保健医療従事者数

(平成２６年末現在：平成２７年版オホーツク地域保健情報年報より)

	医 師		歯科医師		薬 剤 師		歯科衛生士		歯科技工士	
	実数	人口 10万対	実数	人口 10万対	実数	人口 10万対	実数	人口 10万対	実数	人口 10万対
全 道	12,987	240.5	4,483	83.0	10,803	200.1	5,524	102.3	1,986	36.8
オホーツク 総合振興局	448	151.7	168	56.9	379	128.4	178	60.3	80	27.1
網走保健所	78	114.2	30	43.9	72	105.4	23	33.7	13	19.0
大 空 町	4	53.5	5	66.8	3	40.1	-	-	1	13.4

	保 健 師		助 産 師		看 護 師		准看護師	
	実数	人口 10万対	実数	人口 10万対	実数	人口 10万対	実数	人口 10万対
全 道	3,028	56.1	1,647	30.5	57,732	1,069.1	19,172	355.0
オホーツク 総合振興局	236	79.9	85	28.8	2,351	796.3	2,222	752.6
網走保健所	50	73.2	17	24.9	546	799.5	291	426.1
大 空 町	7	93.6	-	-	24	320.9	31	414.4

	栄 養 士		管理栄養士		診療放射線 X線技士		臨床・衛生 検査技師		理学療法士	
	常勤 換算数	人口 10万対	常勤 換算数	人口 10万対	常勤 換算数	人口 10万対	常勤 換算数	人口 10万対	常勤 換算数	人口 10万対
全 道	118.0	2.2	105.0	2.0	430.8	8.0	430.0	8.0	263.0	4.9
オホーツク 総合振興局	12.0	4.1	57.0	19.3	128.0	43.2	134.0	45.5	133.0	45.1
網走保健所	2.0	2.9	10.0	14.6	32.0	46.9	31.0	45.4	30.0	43.9
大 空 町	1.0	12.8	1.0	12.8	1.0	12.8	1.0	12.8	1.0	12.8

	作業療法士		視能訓練士		臨床工学技士		義肢装具士		言語聴覚士	
	常勤 換算数	人口 10万対	常勤 換算数	人口 10万対	常勤 換算数	人口 10万対	常勤 換算数	人口 10万対	常勤 換算数	人口 10万対
全 道	278.7	5.2	212.5	3.9	248.2	4.6	3.0	0.1	770.7	14.3
オホーツク 総合振興局	75.0	25.4	13.0	4.3	87.0	29.5	-	-	36.0	12.2
網走保健所	10.0	14.6	2.0	2.9	21.0	30.8	-	-	7.0	10.3
大 空 町	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-

(6) 救急・休日夜間医療と患者搬送

大空町の休日・夜間における救急医療体制としては、医療法人社団双心会女満別中央病院が救急医療を担っています。

そのほか、美幌医師会在宅当番医（一部傷病者の重篤度及び専門性等により網走医師会救急当番医が実施）による休日診療を担っています。救急患者搬送体制については、網走地区消防組合大空消防署では救急救命士の育成、高規格救急車の導入、道東ドクターヘリ運航圏への加入など、迅速かつ適切な出動体制の強化に努めています。

また、大空町内に産科病院がないため、安心して出産できるよう、妊婦事前登録制度により緊急時の移送支援を行っています。

さらに、突然の心肺停止状態に陥ったときの救命処置のため、AED（自動体外式除細動器）が大空町内でも設置されています。（表－１１）この機器は心臓が小刻みに震えている状態（心室細動や無脈性心室頻拍）にあるとき、電気ショックを与えて震えを

取り除くためのもので、人が多く集まる施設等への設置が求められています。

表－１１ AED設置箇所（平成２９年１１月末現在）

施設名・建物名		
・網走地区消防組合大空消防署・東藻琴出張所	・女満別幼稚園	・ＪＡオホーツク網走 東藻琴支所
・医療法人社団双心会女満別中央病院	・東藻琴幼稚園	・特別養護老人ホーム女満別ドリーム苑
・大空町東藻琴診療所	・女満別小学校	・特別養護老人ホーム東藻琴福寿苑
・女満別伝承館	・東藻琴小学校	・ボッシュ(株)女満別テクニカルセンター
・メルヘンカルチャーセンター	・女満別中学校	・(株)北海道畜産公社北見事業所
・女満別ゲートボールセンター	・東藻琴中学校	・女満別ゴルフコース
・女満別農業構造改善センター	・北海道東藻琴高等学校	・広徳寺
・東藻琴農村環境改善センター	・北海道女満別高等学校	・めっちゃいるど館
・ふれあいセンターフロックス	・北海道女満別高等学校野球部	・ホテル山水
・女満別Ｂ＆Ｇ海洋センター	・北海道女満別高等学校寮（メルヘンハウス）	・東藻琴生涯学習センター
・東藻琴Ｂ＆Ｇ海洋センター	・女満別空港ビル	・障がい者福祉センター（ちあふる）
・東藻琴芝桜公園	・ＪＡめまんべつ	・女満別老人福祉センター

第3部 主要施策

1. 基本方針

近年の医学と医療技術の進歩、新薬の開発、救急医療対策、母子・成人・老人に対する保健医療対策の推進により、我が国の平均寿命や乳幼児死亡率などの健康指標は世界の最高水準にあります。

しかし、医療を取りまく環境は急速な少子高齢社会、人口減少社会の中、疾病構造については、がん、脳血管疾患、高血圧、脂質異常症、糖尿病などの生活習慣病が主要な疾病となっています。

このため、町民の自主的な保健予防活動を推進するとともに、関係機関や団体との協働体制の強化により、各種健康講座を通じて保健予防に関する町民意識の向上、さらには平成20年度から実施している特定健康診査・特定保健指導の受診率の向上、栄養教室などによる食生活改善、疾病予防対策を進めていきます。

また、医療制度の改正、自治体病院等の広域化・連携構想の推進による地域医療のあり方が大きく問われている今日、大空町内に必要な医療機能については、今後も維持・継続させていく必要があります。

住み慣れた大空町において、通院はもとより、概ね入院を含めた医療サービスが完結できる医療提供体制の整備を図り、町民・患者の視点に立った医療情報の提供を進めます。

さらに、大空町が担わなければならない第一次医療圏としての役割を果たし、第二次医療圏・第三次医療圏と連携・協力することで、限られた医療資源を効率的に活用します。

計画の推進については、北海道医療計画との連携を図り、総合計画の目標である「あたたかさあふれる福祉のまちづくり」を目指します。

2. 医療の確保施策

(1) 医療サービスの分担と医療の確保

(イ) 医療法人社団双心会女満別中央病院と大空町東藻琴診療所が相互に連携し初期医療を提供します。

(ロ) 高度、専門的な診断治療を要する第二次医療、第三次医療については、地域センター病院、地方センター病院との連携を推進します。

特に、第二次医療圏の地域センター病院であるJA北海道厚生連網走厚生病院に対して、地域の中で必要とされる医療が持続的に提供されるよう、網走市・斜里町・清里町・小清水町・大空町の1市4町が連携し、支援を行います。

(ハ) 医師の確保・定着のため、北海道医療対策協議会及び公益財団法人北海道地域医療振興財団との連携を図ります。

(2) 基幹病院としての位置付けと貸付財産の措置

医療法人社団双心会女満別中央病院を大空町における基幹病院として位置付けるとともに、町有財産（土地、建物、医療機器）の貸付関係を次のとおり措置することとします。

(イ) 土地及び建物については、医療法人社団双心会の財産として取得することを

要請し、当分の間は転貸禁止などの条件付きで無償貸付けすることとします。

(ロ) 現在貸付けている医療機器については、引き続き無償貸付とします。

(3) 基幹病院としての役割

基幹病院として位置付ける医療法人社団双心会女満別中央病院は、町が計画する保健・医療・福祉サービスの一翼を担う機関として、次の施策の推進に努めなければならない。

(イ) 入院需要に対応した病床の確保

(ロ) 慢性期（病状安定期）に入った寝たきり老人等に対する療養型病床群の施設機能の確保

(ハ) 認知症等を有する患者又は脳血管疾患等に起因する運動障がい等を有する患者の機能回復等、老人デイ・ケア施設機能の確保

(ニ) 医療的ケアの充実（看護補助員に対するケアの指導を含む）及び、地域におけるケア技術の伝達拠点としての役割を果たすとともに、加えて地域ケア会議への参画

(ホ) 通院困難な患者や寝たきり老人に対する適切な療養指導管理

(ヘ) 大空町内における救急医療体制の確保

(ト) 理学療法士等専門従事者を配置し、リハビリテーションの指導管理の推進

(チ) 行政あるいは関係機関との連携強化のための窓口職員の配置

(リ) 災害発生に伴う傷病者の初期治療体制の確保

(ヌ) 町民に対するコーディネート機能の強化

(ル) 町民の疾病予防及び早期発見のための各種健康診査の推進

(4) 基幹病院への支援

(イ) 地域医療確保のため医療法人社団双心会女満別中央病院が保健・医療・福祉の地域包括医療を提供し、町民の保健・医療及び介護福祉の向上を図るため、町は予算に定める範囲内で大空町基幹病院医療環境等充実事業補助金を交付します。

○救急医療対策に関する事業

○療養型病床の確保に関する事業

○人材（医療等従事者）の確保に関する事業

○その他、病院の運営上重要な医療機器及び施設等の整備に関する事業

(ロ) 医療法人社団双心会が大空町において、持続的かつ安定的に医療の提供を可能とするための支援の在り方を検討します。

(ハ) 町民が医療法人社団双心会女満別中央病院を利用しやすい環境を作るため、町民への情報提供等を行います。

(5) 大空町東藻琴診療所の役割

大空町東藻琴診療所は、東藻琴地域に住んでいる方が将来にわたって安心して医療サービスの提供が受けられるよう、引き続き設置します。

また、大空町内の医療を一体的に提供していくため、医療法人社団双心会に対し

指定管理者となって運営を担っていただけるよう、引き続き要請してまいります。

(6) 歯科医療の充実

- (イ) 歯科衛生士による、障がい者、寝たきり老人等に対する訪問歯科診療及び訪問歯科衛生指導を推進します。
- (ロ) 歯科診療所に嘱託を含め、歯科衛生士の配置を要請するとともに、人材活用に努めます。

(7) 医療等従事者の充実、配置

- (イ) 医療機関に医科大学からの専門医師の派遣、技術援助など一層の連携強化を関係機関に要請します。
- (ロ) 医療機関に嘱託医等をも含め医師の充実配置を関係機関に要請します。
- (ハ) 医療機関に看護師の適正配置が行われるよう関係機関に要請するとともに、行政として人材の活用に努めます。
- (ニ) 医療従事者の確保を図るため、大空町医療・介護従事者就業支援補助金の助成を行います。

(8) 在宅医療の推進

- (イ) 訪問診療及び在宅療養指導管理の推進
- (ロ) リハビリテーションの指導管理の推進
- (ハ) 医薬分業の推進にともない訪問薬剤管理指導の推進

(9) 救急医療の充実

- (イ) 初期救急は医療法人社団双心会女満別中央病院が担うものとし、傷病者の重篤度、医療機関の専門性が求められる場合は、大空町と網走市・斜里町・清里町・小清水町との1市4町で連携した「斜網地域の救急搬送体制」の確立のため支援を行います。
- (ロ) 休日夜間診療に対する町民の不安を解消するため、広域的に対応します。
- (ハ) 救急車等による陸路搬送のほか、ドクターヘリ等による搬送も活用し、迅速な搬送に努めます。

(10) 医療の情報化の推進

医療情報等の電子化による関係機関との情報の共有化を推進します。

3. 保健・医療・福祉サービス推進のための関連施策

(1) 関連機関との連携

保健・医療・福祉の各サービスを提供するため、医療法人社団双心会女満別中央病院と関連機関が連携して、包括的かつ効率的なサービスの向上に努めます。

(2) 在宅ケアの促進

地域包括支援センターにおいて、高齢者及びその家族等からの様々な相談を受け、対象者の状態を適切に把握し、サービス事業提供者によるより良いサービスを受けられるよう、保健・医療・福祉のサービス担当者（専門職種）により構成する地域ケア会議を活用し、各関係機関との連携を図ることで在宅ケアを推進します。

(3) 予防対策の推進

疾病予防、早期発見・治療により健康寿命の延伸を図るため各種がん検診、特定健康診査等を集団検診で実施するほか、各医療機関と連携し個別検診を充実させ受診率の向上に努めます。また、家庭訪問指導・健康相談・健康教室の開催等による保健指導の充実を図ります。

(4) 「かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局」の推進

初期治療や日常の健康管理、また専門治療を担う医療機関との適切な連携を図るため「かかりつけ医・かかりつけ歯科医・かかりつけ薬局」を推進します。